

*Integrating Talents & eXpertise
for IT Business*

IT事業創出会社

2002年5月

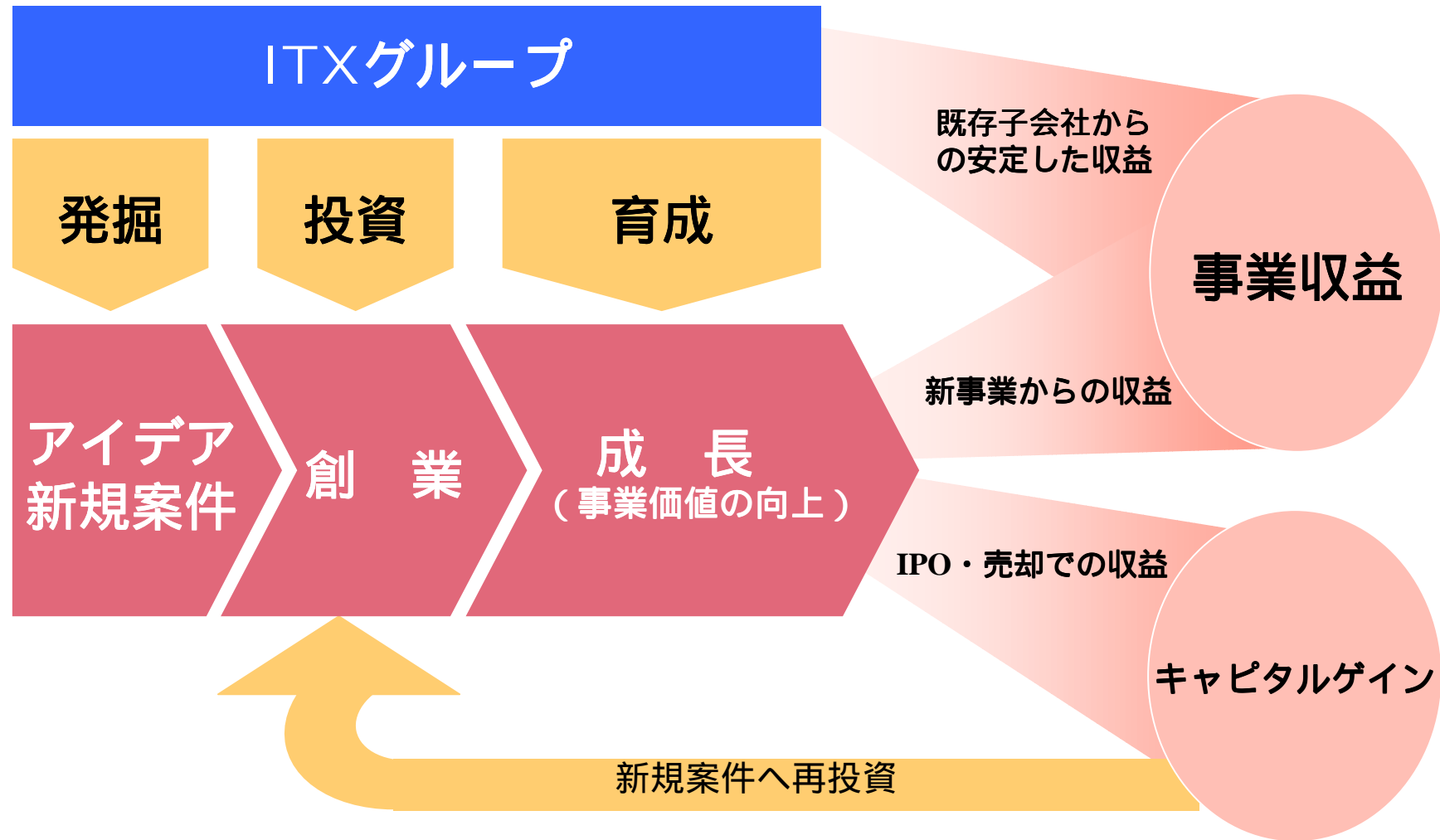


ITX の基本理念

「IT事業創出会社」

ITの可能性を追求し
独創的で革新的なビジネスの
発掘、投資及び育成を行う

事業創出モデル & 収益構造



ITXのビジネスモデルの特徴

ユニーク且高い収益が望める事業で、ITXが経営・運営・育成に深く関与出来る案件を主体に投資する

成功確率の極大化及び事業価値増大の迅速化の為に経営陣・人員の派遣を含めITXの有形無形の経営資源を活用し育成を行う

投資先がグループ会社になる場合に、投資先の期間収益はITXの連結数値に反映される

ITXのビジネスモデルの特徴

日本型VCとの違い

事業主体となって「投資育成」を行う

- ・ 事業コンセプトステージ/シード / アーリーステージ投資が主体
- ・ 経営権掌握
- ・ 役員/人員の派遣およびグループ会社の総合力を挙げての支援による本当の“ハンズオン・スタイル”で投資先を育成
＝「よってたかって支援」
- ・ 投資先の企業価値の向上に注力
- ・ Exitコントロール
- ・ グループ会社間のバリューチェーンを生み出す

ITXの強み

人的資源及び内外のネットワーク資産

人的資源

「創業」・「育成」に必要な経験と実績を持つ人材

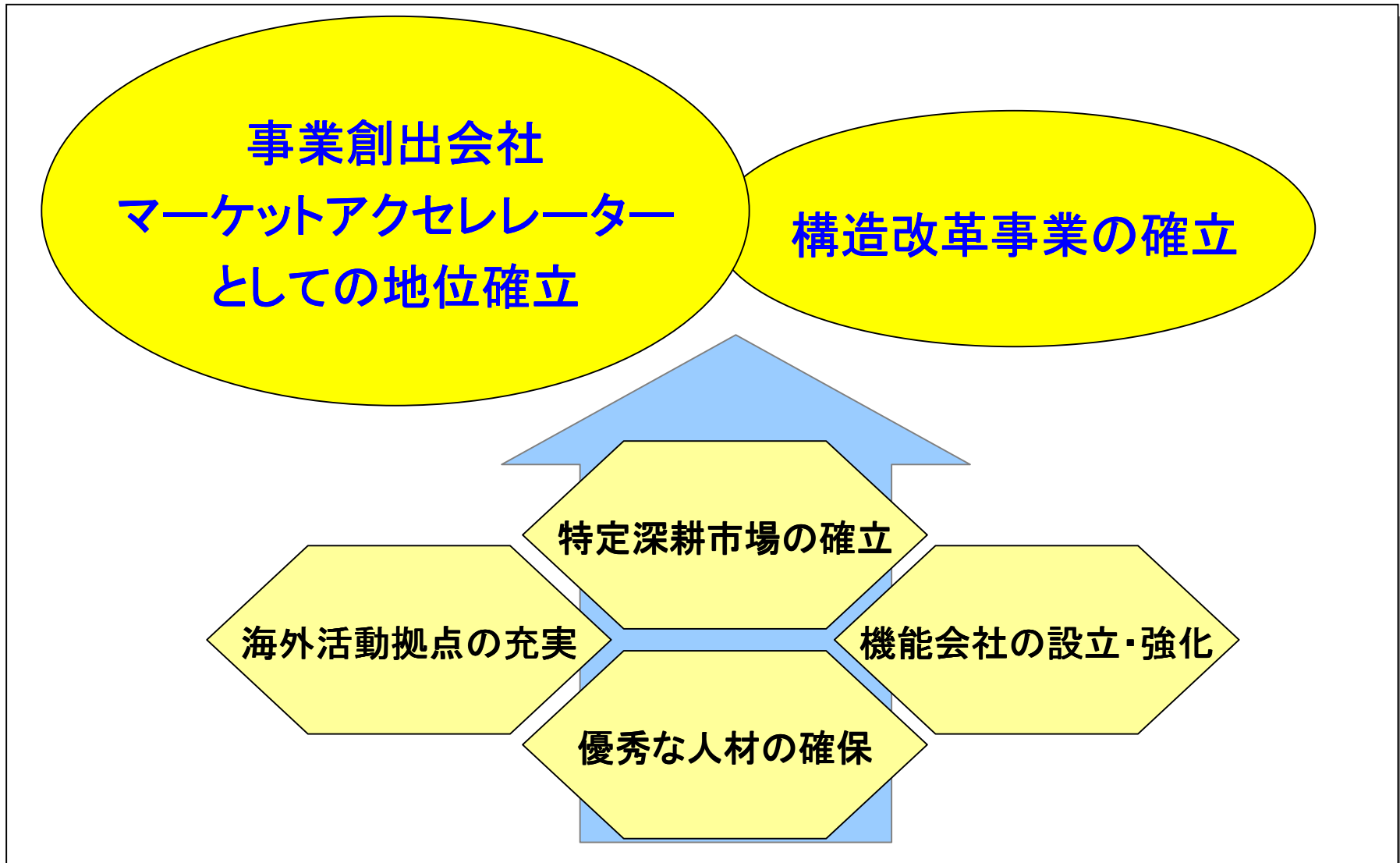
内外のネットワーク資産

- ◆ 戦略パートナー
- ◆ グループ企業
- ◆ 海外拠点
- ◆ 日商岩井時代からのネットワーク

確立された事業からの営業収益

関係会社が創出する確立された事業収益を基盤として、新たな事業の発掘、投資及び育成を行うことが可能

中長期事業戦略



課題と現状

1) 優秀な人材の確保

事業創出・経営・育成のできる良質な人材を更に確保し続け又育成する

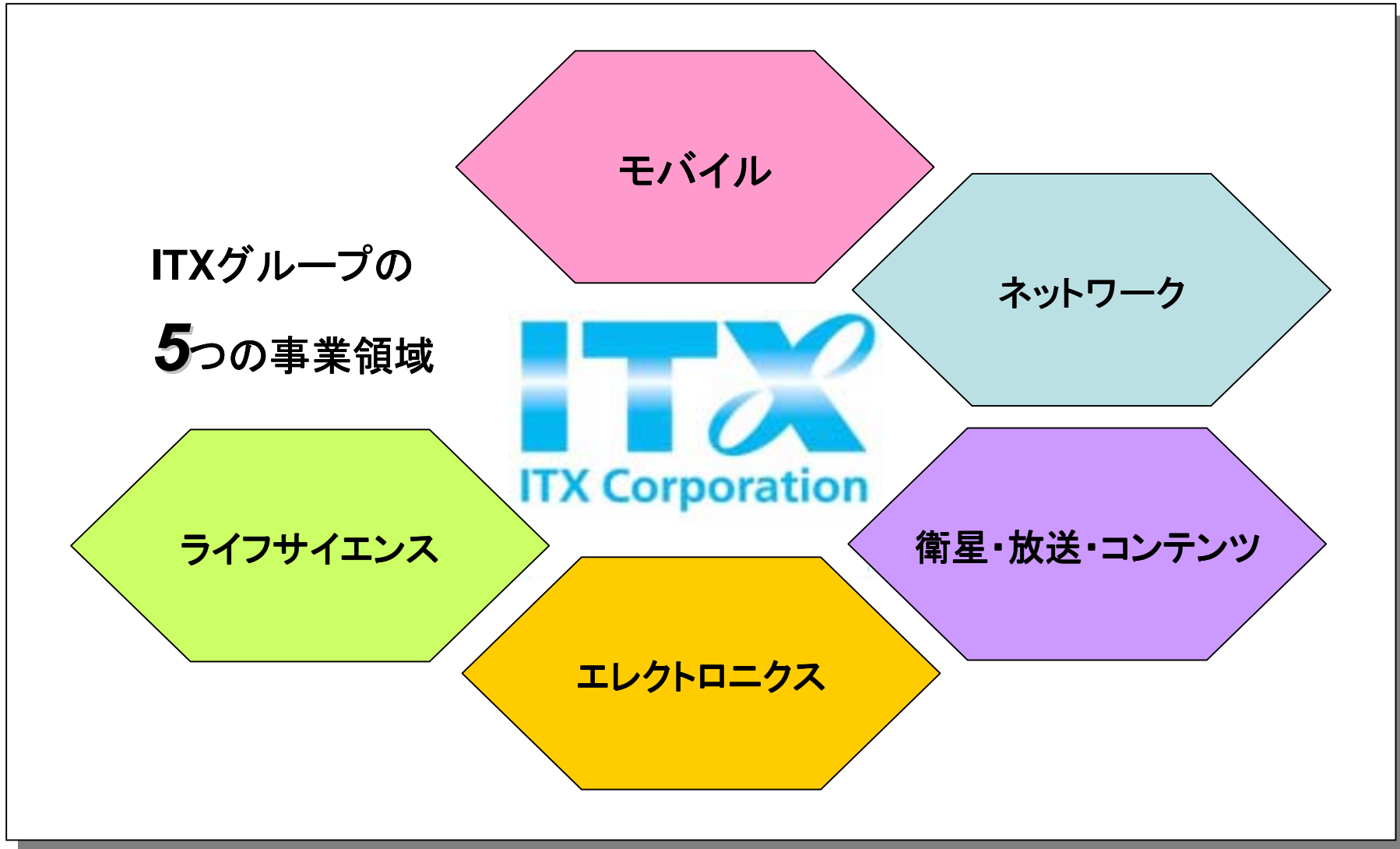
- ・現状：
 - ・新規事業の立ち上げ・経営を担える人材がITX本体に30名及びグループ会社に70名在籍
 - ・既存社員の能力アセットマップの構築が完了。
- ・今後：
 - ・市場評価に基づいた報酬制度を今年7月より導入
 - ・ITXグループ内出入り自由

2) 「ITXが創った」事業成功例の実現

ITX発足後に創出・投資した新規事業からの成功事例の実現

- ・現状及び実績：
 - ・インフォコムの上場
(ITX設立後に合併・再編により事業価値を高め02/3に上場)
- ・今後：
 - ・ITXの更なる育成(支援)体制強化により、フュージョンを筆頭にプロモーションズ /スマートリンク/ リスクモンスター/マークエニージャパン等の各案件の早期黒字化及び事業価値の実現
 - ・バイオックスにて開発中の非侵襲血糖測定器等、新技術をベースにしたビジネスの早期実現

ITXの事業領域



主たるITXのグループ会社及び投資先

02/3現在

ITXグループ

(米国の子会社を除き、 子会社からの投資先は不含)	モバイル サービス	ネットワーク サービス	衛星・放送・ コンテンツ	エレクトロニクス	ライフサイエンス
連結子会社 (20社) (上記20社には 5セグメントに含 まれない米国法 人2社を含む)	アイ・ティー・テレコム	日商エレクトロニクス アトラス テクマトリックス		ITXeGloaledge 東京電音	
持分法会社 (16社)	UI Evolution	インフォコム リスクモンスター マークエニー...ジャパン	DIDS CATV 5社 ムービーチャンネル		バイオックス
連結対象外 投資先 (72社)	ジェイフォン	Mark Any Inc OINA IP Infusion	JSAT		Novacept トランスジェニック
米国投資子会社経由の 投資先 上場会社		イーバンク銀行	AII	エリスネット	10

投資育成先
(64社)

- フュージョン
- 日本アウトソーシング
- スマートリンク
- プロモーションズ
- ネットプロテクションズ
- コラボス

米国投資子会社経由の
投資先

上場会社

ITXの投資残高（単体上の簿価）

02/3現在

単位：億円

	連結区分	社数	単体上の簿価
関係会社	連結	10	946
投資育成関係会社①	連結	10	35
投資育成関係会社②	持分法	15	60
投資育成有価証券	連結対象外	34	195
投資有価証券	連結対象外	34	12
単体上の簿価合計		103	1,248
(米国投資子会社経由の投資)			出資額
投資育成関係会社	(持分法)	(1)	(5)
投資育成有価証券	(連結対象外)	(4)	(17)
(米国投資会社経由の投資 合計)		(5)	(22)

ITX発足後2年間の事業創出

(ITX発足後に創業・新規投資した案件の投資実績)
(2000年4月～2002年3月末)

ITX及びITXグループによる創業案件への投資

10件 48億円

グループ企業価値増大のための買収/再編案件への投資

7件 435億円

ITXとのシナジーを主目的としたベンチャー企業への投資

27件 41億円

(米国投資子会社からの出資も含む)

合計 524億円

44件

(内、投資育成関係会社
及び投資育成有価証券 : 27件)

02/3月期決算 & 03/3月期計画サマリー

単位:億円
():単体

1) 財務体質

	2001年3月期		2002年3月期		2003年3月期 計画
・有利子負債 :	1,403(1,210)	➤	758(562)	➤	810(590)
・株主資本 :	205		589		640

2) 経営指標

・ネット有利子負債倍率:	5.1(5.2)倍	➤	0.9(0.8)倍	➤	0.9(0.8)倍
・株主資本比率 :	8.6%	➤	26.9%	➤	27.4%
・ROA :	0.2%		1.8%		1.8%

※ネット有利子負債=(有利子負債 - 現金及び預金 - 有価証券)÷自己資本

3) P/L

売上	2,619		3,506		3700
売上総利益	424		576		615
<投資育成株式損益>	<102>	➤	<263>	➤	<133>
<機器販売・サービス損益>	<322>		<313>		<482>
経常利益	121		102		130
当期純利益	5		40		41

2001年度 実績

損益計算書（連結）

単位：億円

	2002年3月期	2001年3月期	増減
売上高	3,506	2,619	887
（投資育成株式売上高）	(422)	(208)	(214)
（機器販売・サービス売上高）	(3,084)	(2,411)	(673)
売上総利益	576	424	152
（投資育成株式売却益）	(283)	(122)	(161)
（投資損失）	(△20)	(△20)	(0)
（機器販売・サービスによる利益）	(313)	(322)	(△9)
営業利益	128	133	△5
経常利益	102	121	△19
特別損益	△86	△85	△1
当期純利益	40	5	35

セグメント別損益計算書（連結）

単位：億円

	モバイル	ネットワーク	衛星・放送 ・コンテンツ	エレクトロニクス	ライフ サイエンス	全社	合計
売上高	1,610	837	348	701	10	△0	3,506
(投資育成株式売上高)	(81)	(17)	(325)	(－)	(0)	(－)	422
(機器販売・サービス 売上高)	(1,530)	(820)	(23)	(701)	(10)	△0	3,084
売上総利益	243	112	188	29	3	－	576
(投資育成株式売却益)	(74)	(13)	(196)	(－)	(－)	(－)	283
(投資損失)	(△2)	(△13)	(△5)	(－)	(－)	(－)	△20
(機器販売・サービス による利益)	(170)	(112)	(△2)	(29)	(3)	(－)	313
販売費及び一般 管理費	△163	△227	△12	△27	△6	△13	△448
営業利益	80	△115	177	2	△3	△13	128

株式売却における損益

1) 投資育成株式の売却益

セグメント	売上	売上総利益	対象株式
1) モバイル	81億円	74億円	ジェイフォン東海等
2) ネットワーク	17億円	13億円	インフォコム等
3) 衛星・放送・コンテンツ	325億円	196億円	JSAT／スカイパーフェクトコ ミュニケーションズ等
4) エレクトロニクス	-	-	
5) ライフサイエンス	-	-	

2) 投資育成株式の売却における損失

ファン・ウェーブの株式売却損及びその他投資育成有価証券の評価減 : $\Delta 20$ 億円

3) 特別損失

・日本テレコム等(投資有価証券)の売却損 : $\Delta 47$ 億円
・サテライトニュース(関係会社)の株式譲渡に伴う損失 : $\Delta 31$ 億円

ITX単体及び主要連結子会社の収益

単位:億円

	売上	営業利益	経常利益
主要連結子会社			
IT テレコム	1,529	28	28
日商エレクトロニクス	578	20	21
フュージョン・コミュニケーションズ	113	△103	△109
東京電音	94	1	1
ITX 単体	1,016	241	214

備考:

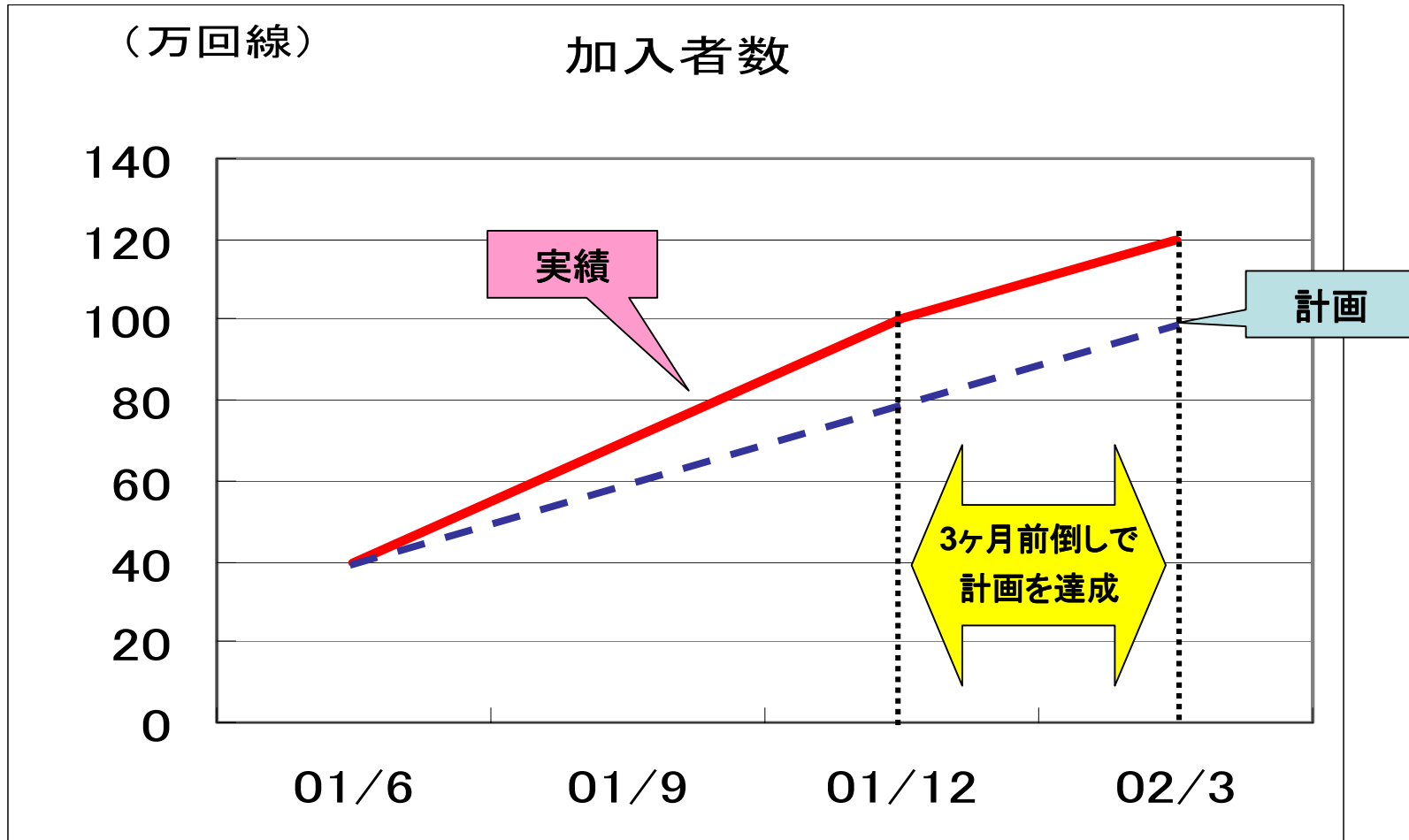
- 1) 主要連結子会社: 売上50億円超の連結子会社
- 2) 上記の日商エレクトロニクスの数値はフュージョンを除いた数値です。
- 3) 上記数値は連結決算に反映されている数値です。
- 4) 東京電音は平成13年10月に旧 IT電子部品と合併。

機器販売サービスにおける主要トピックス

ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・日商エレクトロニクス → VoIPゲートウェイスイッチ等の通信ネットワーク機器関連ビジネスの拡大 ・フュージョンコミュニケーションズ → 2002年3月末 登録回線数 120万回線突破 ・アトラクス → 人事適正検査A8サービスが市場調査で認知度NO.1となる ・テクマトリックス → 病院向け医療関連システム好調 ・リスクモンスター → 2002年3月末 サービス利用社数446社
モバイル	<ul style="list-style-type: none"> ・IT テレコム → 売上の伸びは前期比87%(実質23%)増 47キャリアショップ店舗を新設し274店舗数となる
エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> ・東京電音 → 2001年10月1日 IT電子部品との合併 ・ITX → ITX(単体)が会社分割を行いハイテク21と合併しITXイー・グローバルレッジを設立(2002/4/1)
衛星・放送・コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ・DIDS → ベルメゾンTV向け番組制作を開始するなど02/3より事業開始
ライフサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオックス → 2003年の商品化を目指し完全非侵襲型の自己血糖測定器の製品開発中

※青色社名:関係会社、緑色社名:投資育成先

フュージョンコミュニケーションズの現状



●事業の成長速度をグループの支援により加速

バランスシート（連結）

単位：億円

	2002年 3月末	2001年 3月末	増減		2002年 3月末	2001年 3月末	増減
現金及び預金	156	216	△60	短期有利子負債	670	994	△324
有価証券	44	138	△94	その他流動負債	512	514	△2
その他流動資産	695	659	36	長期有利子負債	87	409	△322
流動資産	895	1,013	△118	その他固定負債	91	40	51
有形固定資産	96	96	0	負債合計	1,360	1,957	△597
無形固定資産	643	666	△23	少数株主持分	237	226	11
内、連結調整勘定	616	641	25	資本金・資本準備金	484	200	284
投資有価証券	88	211	△123	連結剰余金	46	4	42
投資育成有価証券	293	309	△16	その他有価証券評価差額	56	0	56
その他固定資産	147	93	54	その他	3	1	2
固定資産	1,267	1,375	△108	資本合計	589	205	384
繰延資産	24	0	24	負債、少数株主持分 ・資本合計	2,186	2,388	△202
資産合計	2,186	2,388	△202				

投資育成実行状況

単位:億円

	投資額	社数
モバイル	5(5)	1(1)
ネットワーク	35(18)	13(7)
衛星・放送・コンテンツ	5(0)	3(0)
エレクトロニクス	0	0
ライフサイエンス	5(5)	2(2)
合計	50(28)	19(10)

()内は新規投資育成先への実行金額及び社数

新規投資育成の実行

(単位:億円)

セグメント	名称	属性	出資金額	出資比率	事業内容
モバイル	UIEvolution Inc. (米国)	投資育成 関係会社	5.0	(24.1%)	マルチデバイス対応ブラウザ開発、販売
ネットワーク	MarkAny Inc. (韓国)	投資育成 有価証券	8.1	10.5%	電子透かしを中心とするセキュリティーに関するソフト・システムの開発、販売
ネットワーク	ETF GROUP (スイス)	投資育成 有価証券	2.8	0.3%	スイスに拠点を置くベンチャーキャピタル
ネットワーク	(株)ネットプロテクションズ	投資育成 関係会社	2.3	51.6%	ECサイト向けの保証・決済代行・早期立替払いサービスの提供
ネットワーク	(株)パワーバンド	投資育成 有価証券	2.0	2.4%	既設集合住宅向けに特化したブロードバンドネットワークサービスの提供
ネットワーク	(株)ウェブアイ	投資育成 有価証券	1	10.8%	アプリケーションの開発
ネットワーク	(株)マークエニー・ジャパン	投資育成 関係会社	0.9	34.0%	電子透かしを中心とするセキュリティーに関するソフト・システムの開発、販売
ネットワーク	(株)コラボス	投資育成 関係会社	0.9	85.2%	IPネットワーク技術を利用したコンタクトセンターサービスの提供
ライフサイエンス	Novacept Corporation (米国)	投資育成 有価証券	3.8	(4.9%)	低侵襲高周波過多月経治療器の開発、製造、販売
ライフサイエンス	バイオックス(株)	投資育成 関係会社	1.6	43.7%	非侵襲分光光学的血糖値測定計の開発

※出資比率の()内は米国投資子会社からの間接出資比率の割合

2002年度 計画 及び 予算

2003年3月期 収益計画

単位：億円

	2003年3月期	2002年3月期	増減
売上	3,700	3,506	194
（投資育成株式売上高）	（200）	（422）	（△222）
（機器販売・サービス売上高）	（3,500）	（3,084）	（416）
売上総利益	615	576	39
（投資育成株式売却益）	（143）	（283）	（△140）
（投資損失）	（△10）	（△20）	（△10）
（機器販売・サービスによる利益）	（482）	（313）	（169）
営業利益	150	128	22
経常利益	130	102	28
特別利益・損失	△12	△86	△74
当期純利益	41	40	1

主要要素

フュージョン単月黒字化の早期達成

- ・単月黒字達成時期 : 第3四半期(02/10~02/12)を予定
 - ・黒字達成の方策:
 - 法人回線の獲得及びマイライン未登録者のマイライン加入促進
 - 地方をもターゲットとした営業戦略
- (同社の2001年度経常利益 Δ 109億円)

主要連結子会社の収益(2001年度比売上約240億円)増益

- アイ・ティー・テレコム → キャリアショップの拡充・不採算店の閉鎖、合併効果による販売管理費の削減、キャリアへの影響力の拡大
携帯電話販売に続く法人への新規サービス提供による収益源確保
- 日商エレクトロニクス → IPネットワークインフラ構築事業へのリソースの注力
ブロードバンド化の進展に対応するストレージ分野への新商品の投入
- 東京電音 → 電子部品・機器のニッチマーケットでの特化/深耕によるハイシェアー/
ハイマージンの獲得及びコンポーネントからインテグレーションへの転換
- ITXイー・グローバルレッジ → UIEvolution製ブラウザ等キラードクタツの拡販 及び
ワンストップエンジニアリング機能の確立

投資育成先株式売却 : 保有未上場株 又は 上場株式の売却による売却益の達成
(数値計画上 IPOによるキャピタルゲインは不含)

財務関連

1) シンジケートローン

ITX単体のシンジケートローン(平成12年締結)の約定返済 :

- ・今年度末までに400億円返済
(2002年9月及び2003年3月 夫々 200億円返済)
- ・上記返済により総額1200億円のシンジケートローンの返済は完了

2) 有利子負債額

2003年3月末の想定有利子負債額:

- ・連結 : 810億円
- ・単体 : 590億円

3) 想定B/S

2003年3月末 B/S想定 :

連結	: 総資産 2340億円	負債及び少数株主持分 1700億円	株主資本 640億円
単体	: 総資産 1420億円	負債 750億円	株主資本 670億円

新規投資計画

- 1) 投資計画 : 100億円
- 2) 重点分野: ライフサイエンス 及び ネットワーク
- 3) 事業:

ライフサイエンス

- 再生医療・ゲノム創薬支援
- 非・低侵襲の医療デバイス
- 医療ネットワークソリューション

ネットワーク

- IPベース関連ビジネス
- ブロードバンドを支える
ファンダメンタル・テクノロジー
- 次世代e-commerce関連

エレクトロニクス

- 次世代の半導体関連

- 4) テーマ:

知財関連ビジネス

構造改革ビジネス